

平成18年3月期 第3四半期財務・業績の概況（連結）



平成18年2月13日

上場会社名 **第一工業製薬株式会社**

(コード番号・4461 東証・大証第1部)

(URL <http://www.dks-web.co.jp>)

代表者 役職名 代表取締役社長

氏名 津田 章裕

問合せ先責任者 役職名 常務取締役管理本部長

氏名 曾根 潔

TEL (075) 255-0900

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

- ① 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
(内容) 法人税等の計上基準は、法定実効税率をベースとした年間予測税率により計算しております。
- ② 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 有
(内容) 固定資産の減損に係る会計基準（「固定資産の減損に係る会計基準の設定に関する意見書」（企業会計審議会 平成14年8月9日））及び「固定資産の減損に係る会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第6号 平成15年10月31日）を適用しております。
- ③ 連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 無

2. 平成18年3月期第3四半期財務・業績の概況（平成17年4月1日～平成17年12月31日）

(1) 経営成績（連結）の進捗状況 (百万円未満を切り捨てて表示しています)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期（当期）純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %
18年3月期第3四半期	30,894 6.7	644 △24.7	639 △21.2	309 △24.4
17年3月期第3四半期	28,966 5.4	856 37.0	812 65.4	408 143.4
(参考) 17年3月期	38,984	1,196	1,136	560

	1株当たり四半期（当期）純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期（当期）純利益
	円 銭	円 銭
18年3月期第3四半期	8.69	7.93
17年3月期第3四半期	12.62	11.77
(参考) 17年3月期	17.19	15.61

(注) 売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示す。

[経営成績（連結）の進捗状況に関する定性的情報等]

(1) 当第3四半期のわが国経済は、企業収益の改善に支えられて設備投資が堅調に推移するとともに、個人消費も雇用環境の改善から緩やかに増加し、景気は緩やかな回復基調を辿りました。

一方、化学業界におきましては、原油価格上昇の影響を受けて石油関連製品などの素材価格が高騰し、予断を許さない状況が続いております。

このような環境の中、当社グループは既存コア製品の市場拡大に努めると共に、情報技術関連や環境保護関連などの成長分野における開発活動に注力し、また販売価格の是正やコストダウンなどに懸命に取り組んでまいりました。

その結果、売上高につきましては、難燃剤や水系ウレタン樹脂などの『機能材料』のほか、セルロース系高分子材料やビニル系高分子材料などの『アメニティ材料』及び非イオン活性剤などの『界面活性剤』や電子部品材料用途の導電性ペーストなどの『電子デバイス材料』の売上高が好調に伸長しましたことから、当第3四半期の売上高は大きく増加し、308億94百万円（前年同期比6.7%増）となりました。

損益面につきましては、販売価格の是正や成長分野での開発活動に努めましたものの、原油価格の高騰による原材料費の増加が利益の圧迫要因となり、経常利益は6億39百万円（前年同期比21.2%減）、四半期（当期）純利益は3億9百万円（前年同期比24.4%減）となりました。

(2) 事業の種類別セグメントの概況は次のとおりです。

[界面活性剤]

界面活性剤の売上高は、総じて順調に伸長しました。

国内では、金属用途が新規開発により順調に増加しました。ゴム・プラスチック用途の活性剤や建築用途のコンクリート混和剤も順調に増加しました。一方、繊維工業用途の活性剤は市場の構造的要因により低調となりました。

海外では、繊維工業用途は順調に増加しましたが、色材用途は伸び悩みました。

その結果、当事業の売上高は111億93百万円（前年同期比7.3%増）となりました。

[アメニティ材料]

アメニティ材料の売上高は、総じて順調に伸長しました。

国内では、セルロース系高分子材料は水産用途や製紙用途が低調となりましたが、繊維用途や土木・建築用途が順調に増加しました。シヨ糖脂肪酸エステルは食品用途が低調に推移しました。ビニル系高分子材料は繊維用途や化粧品用途などが顕著に伸長しました。アクリル系高分子材料は水処理用途や土木用途が順調に増加しました。

海外では、セルロース系高分子材料が原油高を背景にして米国向けの油井掘削用途が顕著に伸長し、東南アジア向け食品用途も大幅に伸長しました。シヨ糖脂肪酸エステルは欧州向け食品用途を中心に順調に伸長しました。

その結果、当事業の売上高は64億27百万円（前年同期比10.8%増）となりました。

[ウレタン材料]

ウレタン材料の売上高は、総じて横這いとなりました。

土木建築用途とウレタンフォーム用途は低調に推移しましたが、重防食塗料やフロン規制に関連する環境対応型材料は順調に増加しました。

その結果、当事業の売上高は53億83百万円（前年同期比0.6%増）となりました。

[機能材料]

機能材料の売上高は、総じて微増となりました。

光硬化樹脂用材料は国内需要の減少により落ち込みましたが、難燃剤は情報技術関連用途の需要拡大により大幅に伸長しました。水系ウレタン樹脂は金属塗料用途で順調に増加しました。

その結果、当事業の売上高は58億48百万円（前年同期比1.1%増）となりました。

[電子デバイス材料]

電子デバイス材料の売上高は、総じて順調に伸長しました。

地球環境保護に対応した電子部品材料用途の導電性ペーストが堅調に伸長しましたほか、エネルギーデバイス材料用途のイオン導電性ポリマーも順調に伸長しました。

その結果、当事業の売上高は20億41百万円（前年同期比28.3%増）となりました。

(2) 財政状態（連結）の変動状況

	総 資 産	株 主 資 本	株 主 資 本 比 率	1 株 当 たり 株 主 資 本
	百万円	百万円	%	円 銭
18年3月期第3四半期	43,059	15,568	36.2	398.69
17年3月期第3四半期	40,592	12,646	31.2	390.24
(参考) 17年3月期	39,367	13,622	34.6	390.00

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期 末 残 高
	百万円	百万円	百万円	百万円
18年3月期第3四半期	1,148	△ 1,954	347	2,841
17年3月期第3四半期	-	-	-	-
(参考) 17年3月期	△ 373	△ 1,144	2,002	3,298

[財政状態（連結）の変動状況に関する定性的情報等]

(1) 当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べて流動資産が16億96百万円増加し、固定資産が20億17百万円増加したため、36億92百万円の増加となりました。負債は、流動負債が23億72百万円増加し、固定負債が6億43百万円減少したため、17億28百万円の増加となりました。株主資本については、新株予約権付社債の株式転換により資本金が6億65百万円、資本剰余金が6億65百万円増加し、その他有価証券評価差額金が4億67百万円増加したため、19億46百万円の増加となりました。この結果、株主資本比率は1.6%上昇し、36.2%となりました。

(2) 当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）の残高は、前連結会計年度末と比較して4億56百万円減少し、28億41百万円となりました。

各キャッシュ・フローとそれらの増減要因は次のとおりです。

・営業活動により、資金は11億48百万円増加しました。これは、税金等調整前四半期(当期)純利益6億61百万円、減価償却費10億33百万円、仕入債務の増加15億50百万円などにより資金が増加したのに対し、売上債権の増加12億98百万円、たな卸資産の増加6億10百万円、法人税等の支払額1億40百万円などにより資金が減少したことによるものです。

投資活動により、資金は19億54百万円減少しました。これは、投資有価証券の売却1億45百万円などにより資金が増加したのに対し、有形固定資産の取得16億41百万円、関係会社株式の取得3億2百万円、投資有価証券の取得1億69百万円などにより資金が減少したことによるものです。

財務活動により、資金は3億47百万円増加しました。これは、長期借入金の借り入れ19億60百万円などにより資金が増加したのに対し、長期借入金の返済13億66百万円、配当金の支払額2億62百万円などにより資金が減少したことによるものです。

○ 添付資料

(要約) 四半期連結貸借対照表、(要約) 四半期連結損益計算書など

以上

[参考]

平成18年3月期の連結業績予想(平成17年4月1日~平成18年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益
通 期	41,800 百万円	890 百万円	530 百万円

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期) 13円 57銭

[業績予想に関する定性的情報等]

最近の業績の動向を踏まえ、平成17年11月14日の中間決算発表時に公表した平成18年3月期の通期業績予想を、以下のとおり修正致します。

(1) 連結

(単位: 百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成17年11月14日発表)	41,000	1,100	540
今回修正予想(B)	41,800	890	530
増減額(B-A)	800	△210	△10
増減率(%)	2.0	△19.1	△1.9
(ご参考) 前期実績(平成17年3月期)	38,984	1,136	560

(2) 個別

(単位: 百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成17年11月14日発表)	33,500	750	460
今回修正予想(B)	34,100	540	370
増減額(B-A)	600	△210	△90
増減率(%)	1.8	△28.0	△19.6
(ご参考) 前期実績(平成17年3月期)	32,736	882	393

(3) 修正の理由

(連結)

連結通期業績予想の修正は、主に個別通期業績予想の修正によるものです。

(個別)

売上高につきましては、前回予想を若干上回る見込みです。

経常利益及び当期純利益につきましては、原油価格の高騰による原材料費の増加が利益の大きな圧迫要因となっており、販売価格の是正や拡販努力等でカバーすることができないため、前回予想を下回る見込みです。

1. (要約) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円、%)

科 目	前第3四半期末		当第3四半期末		前連結会計年度の要約連結貸借対照表		増 減 (△印減)
	(平成16年12月31日現在)		(平成17年12月31日現在)		(平成17年3月31日現在)		
	金 額	構 成 比	金 額	構 成 比	金 額	構 成 比	金 額
(資産の部)		%		%		%	
I 流動資産							
1 現金及び預金	3,770		2,841		3,298		△ 456
2 受取手形及び売掛金	9,337		10,158		8,810		1,348
3 たな卸資産	5,540		6,163		5,518		645
4 繰延税金資産	238		483		536		△ 52
5 その他	853		889		673		215
貸倒引当金	△ 1		△ 4		△ 2		△ 2
流動資産合計	19,737	48.6	20,531	47.7	18,834	47.8	1,696
II 固定資産							
1 有形固定資産	15,220		16,049		15,279		769
2 無形固定資産	49		56		59		△ 3
3 投資その他の資産	5,610		6,422		5,173		1,249
貸倒引当金	△ 50		△ 0		△ 1		0
固定資産合計	20,830	51.3	22,528	52.3	20,511	52.1	2,017
III 繰延資産							
1 社債発行費	24		—		21		△ 21
繰延資産合計	24	0.1	—	—	21	0.1	△ 21
資産合計	40,592	100.0	43,059	100.0	39,367	100.0	3,692
(負債の部)							
I 流動負債							
1 支払手形及び買掛金	8,967		9,807		8,244		1,562
2 短期借入金	7,878		8,241		7,982		259
3 未払法人税等	250		234		177		56
4 賞与引当金	143		162		271		△ 108
5 その他	1,812		2,017		1,414		602
流動負債合計	19,052	46.9	20,462	47.5	18,090	46.0	2,372
II 固定負債							
1 新株予約権付社債	2,167		—		1,352		△ 1,352
2 長期借入金	5,728		5,486		5,077		408
3 繰延税金負債	2		406		63		343
4 退職給付引当金	146		87		112		△ 24
5 役員退職慰労引当金	47		—		57		△ 57
6 連結調整勘定	86		42		55		△ 13
7 その他	260		317		264		52
固定負債合計	8,440	20.8	6,341	14.7	6,985	17.7	△ 643
負債合計	27,492	67.7	26,804	62.2	25,075	63.7	1,728
(少数株主持分)							
少数株主持分	453	1.1	686	1.6	669	1.7	16
(資本の部)							
I 資 本 金	5,577	13.7	6,650	15.4	5,985	15.2	665
II 資本剰余金	3,905	9.6	4,978	11.6	4,313	11.0	665
III 利益剰余金	3,099	7.6	3,349	7.8	3,250	8.3	98
IV その他有価証券評価差額金	354	0.9	835	1.9	367	0.9	467
V 為替換算調整勘定	△ 105	△ 0.2	△ 51	△ 0.1	△ 105	△ 0.3	53
VI 自己株式	△ 185	△ 0.4	△ 192	△ 0.4	△ 188	△ 0.5	△ 4
資本合計	12,646	31.2	15,568	36.2	13,622	34.6	1,946
負債、少数株主持分及び資本合計	40,592	100.0	43,059	100.0	39,367	100.0	3,692

2. (要約) 四半期連結損益計算書

(単位：百万円、%)

科 目	前第3四半期		当第3四半期		増 減 (△印減)	前連結会計年度の要約連結損益計算書	
	〔 自平成16年4月1日 至平成16年12月31日 〕		〔 自平成17年4月1日 至平成17年12月31日 〕			〔 自平成16年4月1日 至平成17年3月31日 〕	
	金 額	百分比	金 額	百分比		金 額	百分比
I 売 上 高	28,966	100.0	30,894	100.0	1,927	38,984	100.0
II 売 上 原 価	22,005	76.0	23,936	77.5	1,930	29,698	76.2
売 上 総 利 益	6,961	24.0	6,958	22.5	△ 2	9,285	23.8
III 販売費及び一般管理費							
1 販 売 費	3,192		3,339		146	4,264	
2 一 般 管 理 費	2,913		2,975		61	3,824	
合 計	6,105	21.0	6,314	20.4	208	8,089	20.7
営 業 利 益	856	3.0	644	2.1	△ 211	1,196	3.1
IV 営業外収 益							
1 受 取 利 息	1		1		0	1	
2 受 取 配 当 金	32		27		△ 5	45	
3. 持分法による投資利益	68		82		14	81	
4. 固定資産賃貸料	15		3		△ 12	17	
5. 匿名組合分配金	95		91		△ 3	117	
6. そ の 他	129		137		8	170	
合 計	342	1.1	344	1.1	1	434	1.1
V 営業外費 用							
1 支 払 利 息	158		162		4	209	
2. 社 債 利 息	—		0		0	0	
3. たな卸資産処分損	34		20		△ 14	34	
4. そ の 他	193		165		△ 28	248	
合 計	386	1.3	348	1.1	△ 37	494	1.3
経 常 利 益	812	2.8	639	2.1	△ 172	1,136	2.9
VI 特 別 利 益							
1 投資有価証券売却益	247		80		△ 166	316	
2. 債 務 免 除 益	—		24		24	—	
3. そ の 他	0		—		△ 0	0	
合 計	248	0.9	105	0.3	△ 142	316	0.8
VII 特 別 損 失							
1 固定資産処分損	116		84		△ 32	205	
2. 退職給付制度改定損失	110		—		△ 110	110	
3. そ の 他	3		—		△ 3	3	
合 計	230	0.8	84	0.3	△ 146	320	0.8
税金等調整前四半期(当期)純利益	829	2.9	661	2.1	△ 168	1,132	2.9
税 金 費 用	390	1.4	307	1.0	△ 83	531	1.4
少 数 株 主 利 益	29	0.1	44	0.1	14	40	0.1
四半期(当期)純利益	408	1.4	309	1.0	△ 99	560	1.4

3. 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	期 別	
	当 第 3 四 半 期 〔 自 平成17年 4月 1日 至 平成17年12月31日 〕	前連結会計年度の要約 キャッシュ・フロー計算書 〔 自 平成16年4月 1日 至 平成17年3月31日 〕
	金 額	金 額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー		
1. 税金等調整前四半期（当期）純利益	661	1,132
2. 減価償却費	1,033	1,396
3. 連結調整勘定償却額	△ 13	△ 10
4. 貸倒引当金の増加額（△は減少額）	1	△ 54
5. 受取利息及び受取配当金	△ 28	△ 47
6. 支払利息	163	210
7. 持分法による投資利益	△ 82	△ 81
8. 有形固定資産処分損	84	205
9. 投資有価証券売却益	△ 80	△ 316
10. 債務免除益	△ 24	—
11. 売上債権の増加額	△ 1,298	△ 201
12. たな卸資産の増加額	△ 610	△ 465
13. 仕入債務の増加額	1,550	383
14. 退職給付引当金の減少額	△ 26	△ 1,942
15. その他	31	△ 263
小計	1,360	△ 54
16. 利息及び配当金の受取額	75	31
17. 利息の支払額	△ 146	△ 204
18. 法人税等の支払額	△ 140	△ 145
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,148	△ 373
II 投資活動によるキャッシュ・フロー		
1. 有形固定資産の売却による収入	0	8
2. 有形固定資産の取得による支出	△ 1,641	△ 1,302
3. 投資有価証券の売却による収入	145	500
4. 投資有価証券の取得による支出	△ 169	△ 356
5. 関係会社株式の売却による収入	—	0
6. 関係会社株式の取得による支出	△ 302	△ 3
7. 貸付金の回収による収入	98	39
8. 貸付による支出	△ 105	△ 51
9. 連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	—	26
10. 連結の範囲の変更を伴う関係会社出資金の取得による支出	—	△ 5
11. その他	20	△ 1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,954	△ 1,144
III 財務活動によるキャッシュ・フロー		
1. 短期借入金の純増加額	43	341
2. 長期借入れによる収入	1,960	2,360
3. 長期借入金の返済による支出	△ 1,366	△ 2,652
4. 新株予約権付社債の発行による収入	—	2,167
5. 新株予約権付社債の償還による支出	△ 21	—
6. 自己株式の売却による収入	0	0
7. 自己株式の取得による支出	△ 4	△ 5
8. 配当金の支払額	△ 208	△ 162
9. 少数株主への配当金の支払額	△ 54	△ 45
財務活動によるキャッシュ・フロー	347	2,002
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	1	2
V 現金及び現金同等物の増加額（△は減少額）	△ 456	487
VI 現金及び現金同等物の期首残高	3,298	2,811
VII 現金及び現金同等物の期末残高	2,841	3,298

事業の種類別セグメント情報

前第3四半期（自平成16年4月1日 至平成16年12月31日）（単位：百万円）

	界面 活性剤	アメニティ 材料	ウレタン 材料	機 能 材 料	電子デバ イス材料	計	消去又は 全社	連 結
売上高								
(1)外部顧客に対する売上高	10,433	5,801	5,353	5,787	1,591	28,966	-	28,966
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高							(-)	
計	10,433	5,801	5,353	5,787	1,591	28,966	(-)	28,966
営業費用	10,008	5,598	5,316	5,599	1,587	28,110	(-)	28,110
営業利益	424	202	36	187	3	856	(-)	856

当第3四半期（自平成17年4月1日 至平成17年12月31日）（単位：百万円）

	界面 活性剤	アメニティ 材料	ウレタン 材料	機 能 材 料	電子デバ イス材料	計	消去又は 全社	連 結
売上高								
(1)外部顧客に対する売上高	11,193	6,427	5,383	5,848	2,041	30,894	-	30,894
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高							(-)	
計	11,193	6,427	5,383	5,848	2,041	30,894	(-)	30,894
営業費用	10,851	6,351	5,380	5,530	2,136	30,250	(-)	30,250
営業利益(△印は営業損失)	342	76	3	317	△ 94	644	(-)	644

前連結会計年度（自平成16年4月1日 至平成17年3月31日）（単位：百万円）

	界面 活性剤	アメニティ 材料	ウレタン 材料	機 能 材 料	電子デバ イス材料	計	消去又は 全社	連 結
売上高								
(1)外部顧客に対する売上高	13,875	7,809	7,283	7,826	2,188	38,984	-	38,984
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高							(-)	
計	13,875	7,809	7,283	7,826	2,188	38,984	(-)	38,984
営業費用	13,312	7,565	7,202	7,516	2,190	37,788	(-)	37,788
営業利益(△印は営業損失)	563	243	80	310	△ 2	1,196	(-)	1,196

(注) 1. 事業区分の方法

事業区分の方法については、製品の組成及び製造方法に応じて、界面活性剤、アメニティ材料、ウレタン材料、機能材料、電子デバイス材料に区分しています。

なお、前第3四半期及び前連結会計年度において、従来、製品の組成及び製造方法に応じて界面活性剤、水溶性高分子製品、ウレタン系製品、樹脂添加用製品、その他に区分していたが、当社で組織変更が行われたことにより、事業の実態を反映したより適正な製品の組成及び製造方法に応じたセグメントとすべく、セグメントの区分を界面活性剤、アメニティ材料、ウレタン材料、機能材料、電子デバイス材料へ変更しています。

2. 各事業の主な製品

事業区分	主要製品
界面活性剤	非イオン活性剤、アニオン活性剤、カチオン活性剤、両性活性剤
アメニティ材料	シヨ糖脂肪酸エステル、セルロース系高分子材料、ビニル系高分子材料、アクリル系高分子材料
ウレタン材料	ポリエーテルポリオール、ウレタンプレポリマー、ウレタンシステム
機能材料	光硬化樹脂用材料、水系ウレタン樹脂、難燃剤、アミド系滑剤
電子デバイス材料	電子部品用導電性ペースト、射出成形用ペレット、イオン導電性ポリマー

4. (要約) 四半期個別貸借対照表

(単位：百万円、%)

科 目	前第3四半期末		当第3四半期末		前事業年度の要約貸借対照表		増 減 (△印減)
	(平成16年12月31日現在)		(平成17年12月31日現在)		(平成17年3月31日現在)		
	金 額	構 成 比	金 額	構 成 比	金 額	構 成 比	金 額
(資産の部)		%		%		%	
I 流動資産							
1 現金及び預金	3,421		2,475		2,663		△ 187
2 受取手形及び売掛金	7,672		8,287		7,185		1,102
3 たな卸資産	4,982		5,194		4,745		449
4 繰延税金資産	161		407		497		△ 90
5 その他の他	832		895		774		120
流動資産合計	17,071	45.7	17,259	44.3	15,865	44.3	1,394
II 固定資産							
1 有形固定資産	14,135		14,532		13,979		552
2 無形固定資産	32		31		32		△ 0
3 投資その他の資産	6,088		7,140		5,861		1,279
賞 倒 引 当 金	△ 49		△ 0		△ 0		—
固定資産合計	20,207	54.2	21,704	55.7	19,872	55.6	1,831
III 繰延資産							
1 社債発行費	24		—		21		△ 21
繰延資産合計	24	0.1	—	—	21	0.1	△ 21
資産合計	37,302	100.0	38,964	100.0	35,759	100.0	3,204
(負債の部)							
I 流動負債							
1 支払手形及び買掛金	8,051		8,726		7,385		1,340
2 短期借入金	7,037		7,140		6,951		189
3 未払法人税等	152		72		71		0
4 賞与引当金	127		144		241		△ 96
5 その他の他	1,722		1,821		1,290		531
流動負債合計	17,092	45.9	17,904	45.9	15,940	44.5	1,964
II 固定負債							
1 新株予約権付社債	2,167		—		1,352		△ 1,352
2 長期借入金	5,532		5,448		4,989		459
3 繰延税金負債	—		402		60		342
4 退職給付引当金	128		70		96		△ 26
5 役員退職慰労引当金	47		—		57		△ 57
6 その他の他	50		113		50		63
固定負債合計	7,925	21.2	6,035	15.5	6,606	18.5	△ 570
負債合計	25,018	67.1	23,939	61.4	22,546	63.0	1,393
(資本の部)							
I 資 本 金	5,577	15.0	6,650	17.1	5,985	16.7	665
II 資本剰余金	3,905	10.5	4,978	12.8	4,313	12.1	665
III 利益剰余金	2,635	7.1	2,758	7.1	2,739	7.7	18
IV その他有価証券評価差額金	350	0.9	829	2.1	363	1.0	465
V 自 己 株 式	△ 185	△ 0.6	△ 192	△ 0.5	△ 188	△ 0.5	△ 4
資本合計	12,284	32.9	15,024	38.6	13,213	37.0	1,810
負債、少数株主持分及び資本合計	37,302	100.0	38,964	100.0	35,759	100.0	3,204

5. (要約) 四半期個別損益計算書

(単位：百万円、%)

科 目	前第3四半期		当第3四半期		増 減 (△印減)	前事業年度の要約損益計算書	
	〔 自平成16年4月1日 至平成16年12月31日 〕		〔 自平成17年4月1日 至平成17年12月31日 〕			〔 自平成16年4月1日 至平成17年3月31日 〕	
	金 額	百分比	金 額	百分比	金 額	金 額	百分比
I 売 上 高	24,323	100.0	25,096	100.0	773	32,736	100.0
II 売 上 原 価	18,911	77.7	20,019	79.8	1,108	25,576	78.1
売 上 総 利 益	5,412	22.3	5,077	20.2	△ 335	7,159	21.9
III 販売費及び一般管理費							
1 販 売 費	2,355		2,437		81	3,153	
2 一 般 管 理 費	2,395		2,408		12	3,144	
合 計	4,751	19.6	4,845	19.3	94	6,297	19.3
営 業 利 益	660	2.7	231	0.9	△ 429	861	2.6
IV 営業外取益							
1 受 取 利 息	4		4		△ 0	6	
2 受 取 配 当 金	130		218		87	156	
3. 固 定 資 産 賃 貸 料	48		49		0	62	
4. 匿 名 組 合 分 配 金	95		91		△ 3	117	
5. そ の 他	91		93		2	122	
合 計	369	1.6	457	1.8	87	465	1.4
V 営業外費用							
1 支 払 利 息	142		141		△ 1	189	
2. 社 債 利 息	—		0		0	0	
3. た な 卸 資 産 処 分 損	34		20		△ 14	34	
4. そ の 他	175		146		△ 29	219	
合 計	353	1.5	308	1.2	△ 44	444	1.3
経 常 利 益	677	2.8	380	1.5	△ 297	882	2.7
VI 特別利益							
1 投資有価証券売却益	247		80		△ 166	316	
合 計	247	1.0	80	0.3	△ 166	316	1.0
VII 特別損失							
1 固 定 資 産 処 分 損	116		84		△ 32	205	
2. 退 職 給 付 制 度 改 定 損 失	110		—		△ 110	110	
3. 関 係 会 社 有 価 証 券 評 価 損	98		—		△ 98	98	
合 計	325	1.3	84	0.3	△ 241	415	1.3
税金等調整前四半期(当期)純利益	599	2.5	376	1.5	△ 222	782	2.4
税 金 費 用	310	1.3	148	0.6	△ 161	389	1.2
四半期(当期)純利益	288	1.2	228	0.9	△ 60	393	1.2